



ハルウコミュニケーションズ株式会社

- ▶ 本 社 所 在 地／宮城県仙台市若林区六丁の目西町2-12
- ▶ 主な事業内容／印刷・同関連業
- ▶ 従 業 員 数／31名



健康経営優良法人認定／2020～2024認定
(2021、2023、2024はブライト500)

健康経営に取り組むきっかけ

これまで印刷業界では長時間労働が常態化していました。当社でも「残業をするのが当たり前」という組織風土が根付いており、社員の心身の健康にも古い業界体質による様々な課題が影響を及ぼしていることがわかりました。元養護教諭で心身の健康を専門とする人材が入社したことをきっかけに、働きやすい職場づくりを目指し組織風土改革に取り組み始めました。その手立ての1つとして、「健康経営」を導入することにしました。

注力している取り組み

社食を通して食育

毎月1～2回、昼食を提供する「社食の日」を実施しています。総務部や役員が中心となり、社内のキッチンで調理を行っています。社食の日には、同僚との会話も増えコミュニケーションの場になっています。また、食育の視点から健康栄養メモを配布し食材の栄養素やその効能を伝えたり、配膳や下膳の作法を学べるように工夫しています。



健康づくりのための情報提供にも力を入れています。健康づくりに積極的に取り組むためには、正しい知識の習得が必要であると考え、健康づくり研修会を社内で開催しています。健診結果が届くタイミングに「健診結果の見方を解説した冊子」を全社員に配付したり、「病気の原因や予防・治療法をわかりやすく解説している雑誌」を定期購読し全社員に回覧したりしています。

そのほかにも、一般的に行われている健康経営の取り組みに加えて、週1回割り当てられたスペースや機器の掃除を行う「清掃の日」を設定し体を動かす機会にしています。



また、休憩・コミュニケーションスペースの設置、社員ひとり一人の健康情報をまとめた健康ファイルの作成、心身の不調で支援が必要な社員への医療機関（自宅）への付き添いや医療機関との連携など、当社独自の取り組みも数多く行っています。

取り組みの課題

現在、「健康経営」を導入するきっかけとなった元養護教諭の役員を中心に取り組みを行っています。将来的には、この人材がいなくとも実効性のある健康づくりの取り組みを継続できるよう、健康づくりの担い手を育成するとともに社員ひとり一人が健康づくりに主体的に取り組めるように健康教育にも力を入れていきたいと考えています。

取り組みの効果

生活習慣の改善に取り組む社員、症状が軽いうちに医療機関を受診する社員、心身の不調を早めに相談してくれる社員などが増えました。自身の健康だけではなく、他者の健康状態も気遣うようになり、社員同士で声を掛け合うようにもなりました。

部門間の連携強化や知識・技術の共有化などにより、多能工化や業務シェアが進んだ結果、生産性が向上し、社内全体の残業時間を減らすことができました。

人材の確保・定着にもつながっており、就労に支援が必要な社員や派遣社員などから「従業員の心身の健康を守る職場環境のためにこんなに尽力している企業は他になかった」といった声をいただき、長期雇用や正社員登用が増えています。

今後の展望をお聞きました！

現在の健康経営を基盤とした働き方改革、ダイバーシティ経営を継続し充実させていくことで、誰もが健やかで充足感や幸福感を持って働けるウェルビーイングな職場の実現につなげていきたいと考えています。社員が健康で安心して働ける環境なくして、企業の持続的な発展はないと考えています。その基盤や風土・文化をしっかりと築いていきたいです。



代表取締役社長
針生 英一 氏